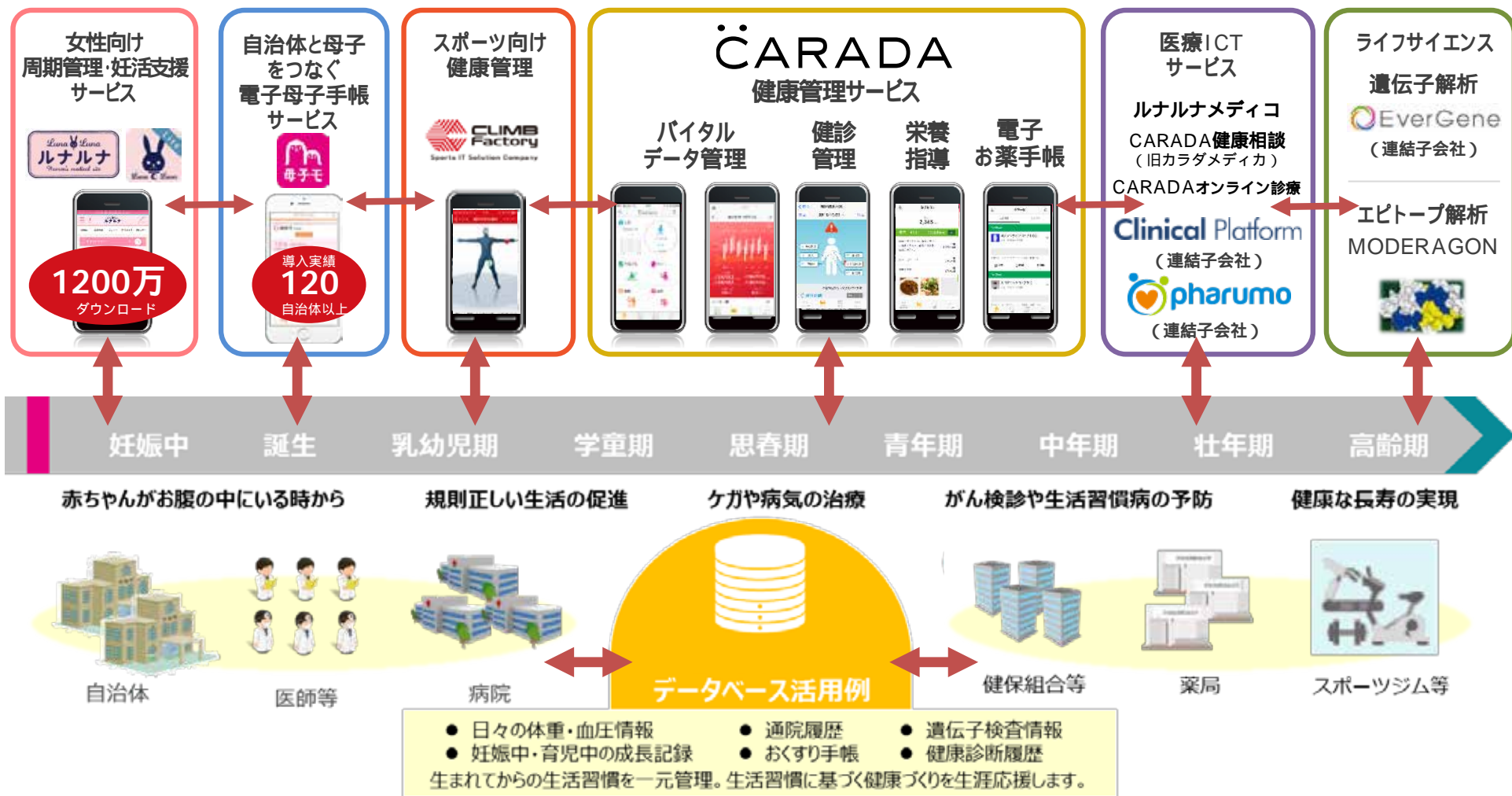


# 当社ヘルスケアサービス全体像

ユーザーを中心としたライフコースデータを管理保管し、価値を還元することで、  
**マイナス1歳～100歳までの健康管理をサポート**



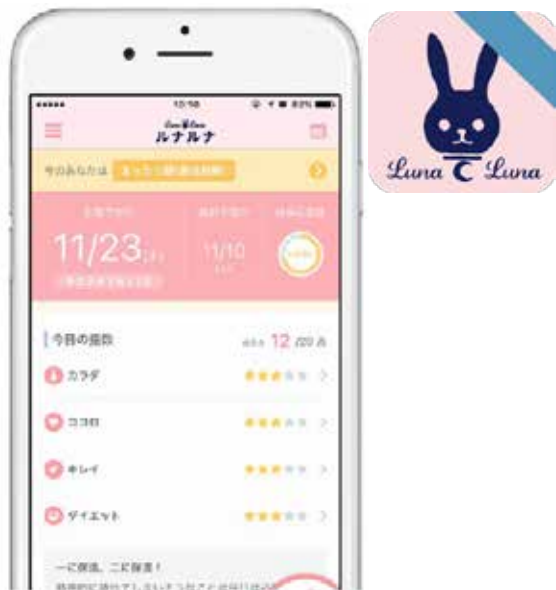
# 主要サービス紹介：ルナルナ

## 生理日管理アプリ利用者No.1<sup>1</sup>！

1,200万ダウンロード（2018年3月時点）突破の  
モバイル向け健康管理サービスです。



### ルナルナ



### ルナルナ 体温ノート



その他目的に沿った  
サービスもあります



## 特許 / 論文

- 独自ロジックによる排卵日予測（特許取得済み）
- 2017年11月17日「Journal of Medical Internet Research」に論文も掲載

## 共同研究実績

- 順天堂大学「女性のコンディショニングに関する検討 - 運動・月経状態・パターンとパフォーマンスとの関係 -」（女性医学学会・抗加齢学会にて発表）
- 早稲田大学「生活リズムが月経周期および月経に伴う症状に与える影響の横断的研究」（日本睡眠学会にて発表）
- 弘前大学 不妊領域における共同研究 等

1. 定期的に生理のある15～49歳の女性2,000名に対するアンケート結果。株式会社マーシュで調査を実施。

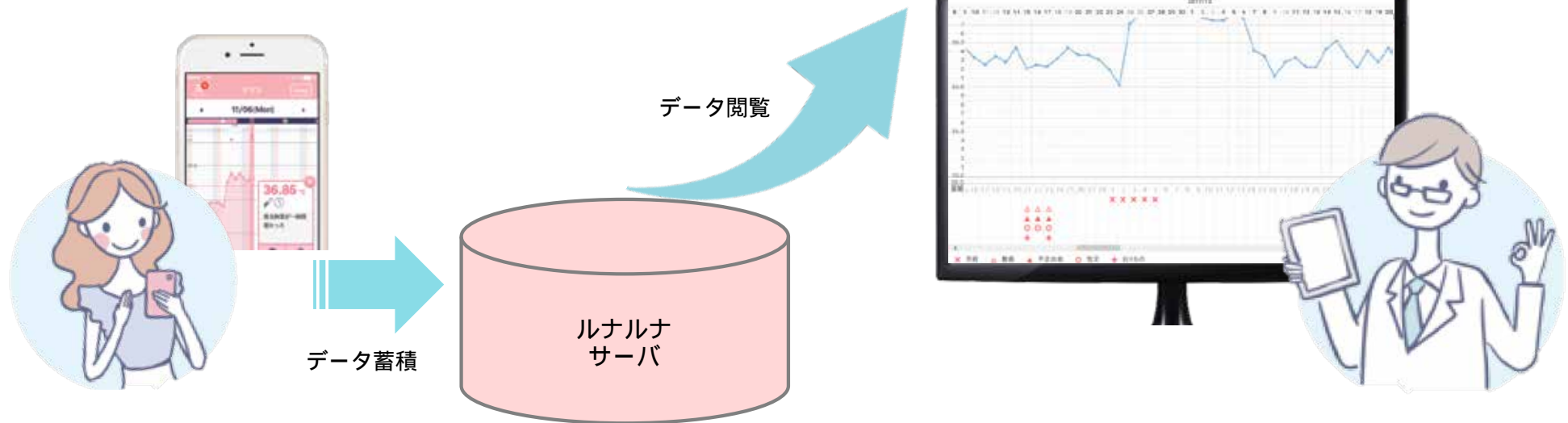
# 主要サービス紹介：ルナルナメディコ

## 医師と女性をつなぐサポートツール『ルナルナ メディコ』

患者がルナルナに記録したデータを、医師側で閲覧できるサービス

患者様がルナルナアプリに  
月経日や基礎体温を記録すると、  
ルナルナのサーバにデータが蓄積されます

医師はルナルナメディコを通して、  
患者様のデータだけを取りに行くことができます



# 主要サービス紹介：ルナルナ（自治体との取り組み）

総合トップ > 県政情報・統計 > 県政資料・県報 > 県政ニュース（報道発表資料） > 2017年度 > 2017年10月 > 埼玉県と株式会社エムティーアイが連携協定を締結！ 「ウェルカムベビープロジェクト」×「ルナルナ」で妊娠・不妊をサポート

LINEで送る いいね！ 7 ツイート 印刷 発表日：2017年10月25日14時

## 県政ニュース 報道発表資料



### 埼玉県と株式会社エムティーアイが連携協定を締結！ 「ウェルカムベビープロジェクト」×「ルナルナ」で妊娠・不妊をサポート

部局名：保健医療部  
課所名：健康長寿課  
担当名：母子保健担当  
担当者名：高梨・加藤

内線電話番号：3326  
直通電話番号：048-830-3561  
Email：[a3570-09@pref.saitama.lg.jp](mailto:a3570-09@pref.saitama.lg.jp)

埼玉県では、株式会社エムティーアイ（本社：東京都）と連携協定を締結し、妊娠・不妊に関する正しい知識の普及啓発や不妊検査の早期実施、早期治療の理解促進など子供を望む夫婦の更なる支援に取り組みます。

株式会社エムティーアイが運営する女性のカラダとココロの健康サポートサービス『ルナルナ』と埼玉県の不妊に関する総合支援「ウェルカムベビープロジェクト」のコラボレーション事業を展開。県民一人ひとりが、妊娠・不妊に関心を持って正しい知識・情報を得られる環境づくりを目指します。

このたびの協定締結にあわせて、『ルナルナ』内に「埼玉妊活支援特設ページ」を開設。県独自の不妊検査・不妊治療費助成制度の浸透や若い世代への妊娠・不妊に関する基礎知識の啓発を図ります。

※『ルナルナ』：1,000万インストールを超える女性のカラダとココロの健康管理サービスを提供するアプリ。過去の生理日から生理日・排卵日を予測する機能あり。女性のライフステージごとに各種情報を提供



出典：埼玉県ホームページより

大阪府とも取り組み開始

MYナビ 彩の国 開く

# 主要サービス紹介：母子モ

自治体交付の母子健康手帳と併用し、スマートフォンで妊娠、出産、子育てまでフルサポート、家族・地域とつながる、安心の子育て支援アプリです。



## 電子母子手帳

紙の母子健康手帳と併用して、便利に利用できるサービス。悩みを解決し、楽しく明るい子育ての実現に貢献します。

## 予防接種管理

医療連携サービスも間もなくリリース予定！

## 母親の健康記録

## 子どもの成長記録

## 日記、できたよ記念日



母子手帳アプリ

# 母子モ



## 地域子育て情報

地域の特性に応じた情報を、いつでも、どこでも、タイムリーにご提供。リアルなコミュニケーションの活性化にも貢献します。

## お知らせ、ニュース

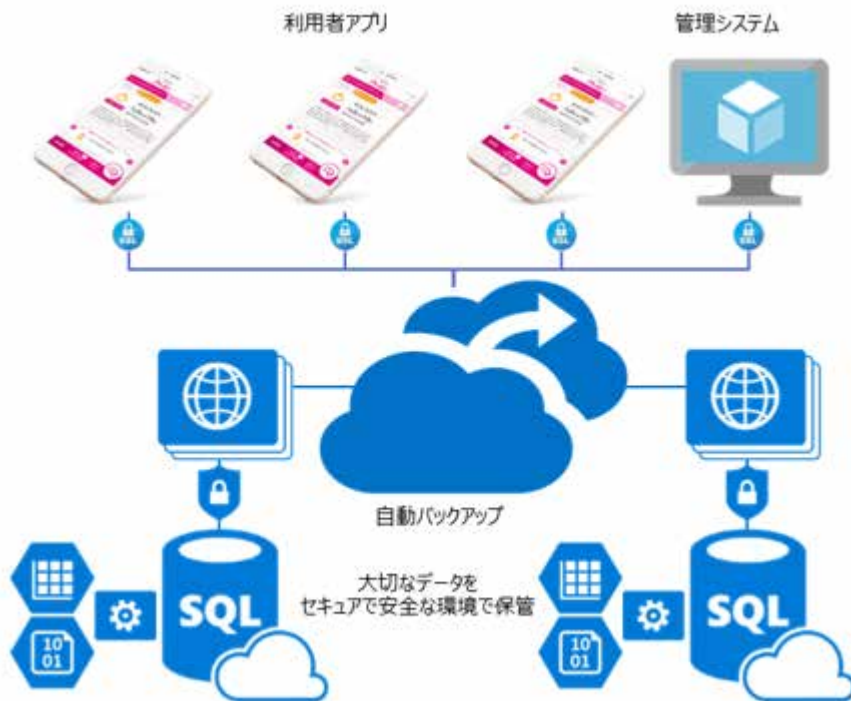
## 地域イベント

## 子育て支援施設

プッシュ通知

パーソナライズ

# 主要サービス紹介：母子モと災害



## 日常生活で紛失

- 子どもと外出するとき、荷物が多くなり、どこかに忘れてきてしまった。
- 成長につれてあまり使わなくなり引越しの時にうっかりと捨ててしまった。

## 災害で紛失

- 東日本大震災で母子手帳を失う。  
役所も病院も流されてしまい、どこにも記録が残っていない。  
結婚式でプロフィール動画に載せる小さいころの写真や記録がなく寂しいおもいをした。
- 西日本豪雨の被災地で母子手帳が流されてなくなったり、  
泥につかって読めなくなったことが相次いでわかった。  
水を吸った手帳はページがくっつき剥がせなくなったり一部文字がにじんでしまっていた。  
他のものを洗うときは違った感情があり、悲しかった。

## ➡母子モ導入の東日本大震災被災地域自治体職員の声

- 震災時は命を守ることが最優先。  
母子手帳は大切だけど一瞬の判断に迷わないようにしてほしい。  
日頃気にせず自動にバックアップしてくれるのは非常に便利。  
震災対策は日頃の準備が大切。
- 自治体職員も被災しているので、訪問がなくとも情報発信ができ住民に寄り添える。

大切な思い出や記録を安全に保管し、  
将来お子さまにお渡しするまで大切に保管